

ルクセンブルク経済・金融情勢（2015年9月後半）

1. 経済

- ルクセンブルク国民議会は、2015年7月、電子的公文書に関する法律を採択。これによって、電子文書と紙媒体の文書が同じ価値を持つと認められることになる。経済省は、明確な法体系を持つ国で公文書の電子化を考える国際的な企業が、ルクセンブルクに本部を移すことを期待。（18日付ヴォルト紙）
- 2015年8月の失業率は6.9%（前月は6.9%、前年同月は7.2%）。（22日付統計局プレスリリース）
- 政府観光局は、ビジネス・ツーリズムの振興を目的とする英語情報ウェブサイトの運用を開始した。ビジネス・ツーリズムは、2014年、ミーティング、コンベンション、エキシビションの開催支援等を行うMICEクラスターへ再編。（25日付ヴォルト紙）
- ルクセンブルクの中央銀行と統計局は、2015年第1四半期の経常収支を12.4億ユーロの黒字（前年同期比▲2.2億ユーロ）と発表。国際貿易の影響を受けて、貿易収支は前年同期の1.39億ユーロの赤字から1.8億ユーロの黒字へと転換。また、サービス収支は前年同期から5億ユーロ増加して91億ユーロの黒字となった。しかし、これら収支の好転は、第1次所得収支の赤字拡大（当館注：越境労働者への給与支払の増加が主な要因と思われる）を相殺するには至らなかった。（29日付ヴォルト紙）

2. 金融

- ルクセンブルクの金融監督委員会（CSSF）は、監査法人を監督する米国の委員会 Public Company Accounting Board と、両国の監督当局が管轄する地域の監査法人への監督業務で協力する協定を締結したと発表。CSSFにとっては、EU圏外の監督当局と締結するものとして3番目の協定である（当館注：CSSFは、2013年8月に我が国金融庁及び公認会計士監査審査会との間で同様の協力関係に係る書簡を交換しており、これはCSSFにとってEU圏外におけるものとして初のもの）。（18日付CSSF コミュニケ）
- グラマーニャ財務相、FinTechは当国の情報通信政策 Digital Letzebuerg における優先課題の1つであるとして、FinTech セクター振興のために50万ユーロを2016年に支出すると発表。金融セクター全体に対しては、500万ユーロの予算が組まれる予定である。2016年の金融ミッション、特に年頭に開催する日本へのミッションと4月に開催するサンフランシスコへのミッションではFinTechに焦点を絞る見通し。（18日付ヴォルト紙）
- KPMG ルクセンブルクは、海淀区サイエンスパーク（中国・北京）と、海淀地

区のハイテク企業が国際市場へ進出するための支援協定に合意。KPMG は、5 年以内に海淀区サイエンスパークをイノベーションセンターにするため、中国 M&A キャピタルセンターを設置する予定である。(24 日付ヴォルト紙)

●金融格付会社スタンダード・アンド・プアーズはルクセンブルクの状況を安定的とみて AAA の格付（安定的）に据え置くと発表。同社は、ルクセンブルク経済のガバナンスの良さとともに、金融セクターの強化と多様化を好評価。また、財政赤字の削減を目指す政策「将来のためのパッケージ」が良い効果をもたらしているとも分析した。(26 日付ヴォルト紙電子版及び 28 日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンスプレスリリース)

3. 政府

●グラメーニャ財務相、22 日、ブリュッセルで「EU 業績予算」セミナーに出席。(18 日付財務省コミュニケ)

●グラメーニャ財務相、ルクセンブルク商工会議所の視察団と共にミラノで開催中の万国博覧会を視察。(26 日付ヴォルト紙)

※当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。